

2024（令和6）年度 学校関係者評価報告書

熊本歯科技術専門学校

開催日：令和7年6月5日（木）11：00 ～ 13：30
開催場所：熊本歯科技術専門学校 1階 会議室

・評価項目についての評価結果

1. 教育理念・目標・人材育成像

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
①	教育理念・教育目標・育成人材像は明確に定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
②	学校における職業教育の特色を打ち出し、実践しているか	3
③	教育理念・教育目標は教職員・学生に対して周知されているか	3
④	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

2. 学校運営

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
①	目的・目標等にあった学校運営方針が策定され、また各種諸規定・規則等の整備がなされているか	3
②	運営組織や意思決定機関は、有効かつ効率的に機能しているか	3
③	人事・給与等に関する制度は整備されているか	3
④	教育活動に関する情報公開が適切に行われているか	3
⑤	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

3. 教育活動・学修成果

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
①	教育理念・教育目標に沿ったカリキュラムが策定されているか	3
②	1に示すカリキュラムは定期的な見直しが行われているか	3
③	カリキュラムは教職員および学生に周知されているか	4
④	授業に対する評価・改善の体制および実施が行われているか	4
⑤	成績評価・進級・卒業の基準は明確であるか	3
⑥	国家試験合格率の目標を設定するとともに、取得向上に向けての取り組みが行われているか	2
⑦	退学率の低減が行われているか、また低減に向けての取り組みは教職員間で共有されているか	3
⑧	就職率の向上が行われているか	4

4. 学生支援

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

No.	評価項目	評定
①	進路（就職）および学生生活に関する相談・カウンセリングに関する体制が整備され、潤滑な運営が定期的に行われているか	3
②	奨学金等の経済的支援制度が整備され、支給から返還までの手続きが確立されているか	4
③	健康管理についての指導および支援の体制は整っているか	3
④	不慮の事故など、在学中の学生生活に係る災害に対して、保険に加入しているか	4
⑤	保護者との連携（情報提供等）がなされているか	3
⑥	卒業生に対しての支援体制があるか	3

5. 教育環境

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

No.	評価項目	評定
①	教室・実習室等は、室数・広さともに教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
②	学生が実習等を行う上で、教室を含めた諸施設を提供（開放）しているか	3
③	休憩室等のスペースが置かれているか	3
④	防災に対する設備・非常時の体制は整備されているか	3

6. 学生の受入れ募集

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

No.	評価項目	評定
①	学生募集計画を策定し、適宜実施されているか	4
②	学校案内・募集要項の内容は志願者が必要とする内容が掲載され、かつ内容は適切なものになっているか	4
③	学生募集に対する対応等、体制は整っているか	4
④	オープンキャンパス・体験入学の回数や時期、また実施する内容は参加者（志願者）が学校を把握するに十分なものとなっているか	4
⑤	出願状況はどうか、また定員充足率は満足できるものであるか	2

7. 財務

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

No.	評価項目	評定
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3

②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
③	財務について会計監査が適正に行われているか	4
④	財務情報公開の体制整備はできているか	3

8. 法令等の遵守

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

No.	評価項目	評定
①	関係法令（学校教育法・私立学校法）・専修学校設置基準の遵守がなされているか	4
②	個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	3
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
④	自己評価結果を公開しているか	4

9. 社会貢献・地域貢献

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

No.	評価項目	評定
①	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
②	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっているか	3

学校関係者評価委員からの質問・意見等

(Q : 委員からの質問・意見等、A : それに対する本校説明)

【質問として】

2. 「学校運営」 関連

No.⑤ 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」 関連

Q : 情報システム化による業務効率化を計画しているとのことだが、教育システム (eラーニング: オンライン授業等) の導入などを考えられているのか。

A : 校舎内ネットワークシステムの更新を計画していると伝えましたが、近い将来の教科書電子化を見据えており、ハード面を整備し即時対応できるようにするためである。また、パッケージ化されている教務システム (授業構築・シラバス対応・成績表他各種の証明書等) を導入し、一元化することで業務効率を上げ、授業準備・学生対応 (面談) の時間を確保することを目的としている。学校内部の運営の「質」を上げていくためである。

(併せて、業界認知・発展に向けての広報活動、また本校への学生募集関連の支援に対してお礼を述べた)

Q : 歯科技工士科の入学生が令和7年度は増加しているが、何か特別な対策・取り組みをなされた結果か?

A : 学校訪問等で歯科技工士の必要性や実態について丁寧に説明をしている点と5年前より歯科技工士の啓蒙ポスター掲示 (県内の中学校・高校へ配布) が、少しずつ歯科技工士の認知度を上げていると考えている。

また、株式会社愛歯様等の企業が、YouTube やテレビCM放映を頻繁に行ってくださいのお陰で、老若男女問わず認知される機会が増えていることも要因の一つだと考えている。

【意見として】

【理事からの発言】

Q : 先般、歯科技工士の処遇等のニュース (2025.06.01: MBSNEWS…ネットニュースに掲載) が報道されていた、実態として認める部分もあるが、歯科業界 (歯科技工士業界) を認知していない一般人からすると、待遇・仕事内容が極めて劣悪であると受け止められても仕方がない内容であった。

過去 (数十年前) にも同様の報道があり、払拭するのに2~3年を要したことが思い出された。学生募集等においてマイナスに作用することもあり得ますので、十分注意をしていただきたいと思います。

【学校側より】

A : この報道は承知している。理事のご発言同様認める部分もあるが、報道のされ方が、マイナスイメージをもたらす内容であることは否めなかった。

この件については、日々歯科業界も待遇改善に努めており (特に歯科技工所: 株式会社レベルのラボ)、学校側も継続して高等学校への訪問時に改善されている旨の話をしている。

今後、世論の動向に注意して、現状を正確に伝達していくことに気を付けます。

・上記の質問・その他意見なく、特に問題なしとして委員会を閉会する。